

形名	LEDD85910 (W)	LEDD85910 (S)
対象機種	高気密・断熱施工用ダウンライト (SGI形・軒下用)	適合断熱工法 マット敷き工法
適合ランプ (別売)	LEDユニット フラット形 (GX53口金) LDF8まで	
埋込穴寸法	φ125±2mm	

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ 施工上のご注意

- ・照明機器の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。
- ・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

<ul style="list-style-type: none"> ・器具の取付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。 ・器具の取付けは、質量の耐える所に「器具の取付けかた」に従って行ってください。取付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。 ・この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井、壁面には、取付けしないでください。指定以外の取付けを行うと器具落下の原因となります。 ・電源線接続の際は、本取扱説明書の「器具の取付けかた」に従って行ってください。曲がった電線や、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因となります。 ・アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合には感電の原因となります。(D種(第三種)接地工事) 	<ul style="list-style-type: none"> ・この器具の送りは、6Aまでです。(送り負荷は照明器具専用) 超えて使用しますと感電、発熱、火災の原因となります。 ・器具を分解、改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。 ・指定の適合ランプ以外を組み合わせると、ちらつき、発熱、発火の原因となります。 ・この器具は照明システム (MESLなど) との組み合わせはできません。破損、発煙、短寿命、ちらつきの原因となります。 ・調光器と組み合わせて使用する場合は、調光器対応LEDユニットフラット形を使用してください。 ・振動の激しい場所には使用しないでください。そのまま施工されますと、器具落下の原因となります。 ・この器具は海岸に近い塩害地区には使用できません。早期の錆発生、器具落下の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この器具は防湿形ではありません。天井外面のみ防水構造です。サウナなど湯気、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。 ・器具の取付けは、スケルトン天井や、凹凸面に取付けしないでください。また、背面より水のかかる場所へは設置しないでください。指定外の取付けは、防水性が損なわれ、湿気、水気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。IP20 ・器具と被照射物 (ドアや家具など) との距離は0.1m以上離して使用してください。指定よりも近すぎると被照射物 (ドアや家具など) の変色、変形、火災の原因となります。IP23
--	--	---

■この器具はマット敷き工法専用器具です。

- ・この器具は(一社)日本照明器具工業会、断熱施工SGI形ダウンライト適合品です。
- ・ブローイング工法で施工される天井には、使用できません。これを無視して施工した場合には、発熱、火災の原因となります。
- ・マット敷き工法<住宅用人工造鉱物繊維断熱材 (JIS A 9521 熱抵抗値: 6.6m²・K/W以下) のロールタイプまたは、パットタイプを天井に敷き込む工法>で断熱施工された天井に取り付けることができます。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・この器具は軒下用で、5℃～35℃の範囲で使用するように設計してあります。高温で使用しますと火災、ランプ短寿命の原因となります。
- ・器具を密閉した空間に設置しないでください。ランプ短寿命の原因となります。
- ・器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、器具などの短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。)
- ・決められた台数以上の器具を接続しないでください。
- ・腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。

お客様へ 使用上のご注意

- ・お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ・ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま交換を行うと感電の原因となります。
- ・ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因となります。
- ・器具の隙間や放熱穴に金属物などを差し込まないでください。感電や火災の原因となります。
- ・ランプ交換の際は、必ず本体表示ならびに取扱説明書とおりの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

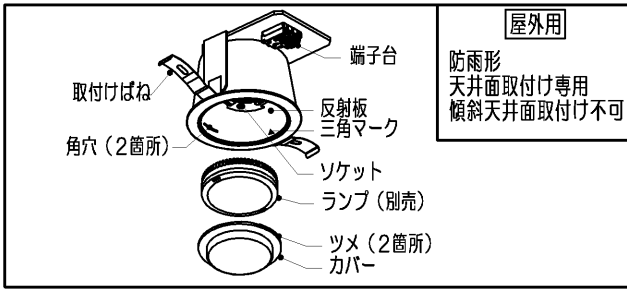
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および3年に1回は工事店等の専門家による点検を実施してください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)
- ・点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
- ・LED光源にはパルクがあるため、同一形商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・安全上、LED光源を直視しないでください。
- ・照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますのでご了承ください。

■お手入れについて

- ・器具を水洗いしないでください。感電、故障の原因となります。
- ・金属部分をクレンザーや、たわしでみがかないでください。傷、腐食の原因となります。
- ・乾いた柔らかい布でふき取るか、柔らかい布を中性洗剤の1～2%の水溶液を用いて浸し、よくほって汚れた部分を軽くふきとってください。
- ・アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤、アルコールでふかないでください。部品の変色・劣化や感電の原因となります。
- ・洗剤・薬品などでふいたり殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電などの原因となります。

■各部のなまえ



■器具の取付けかた

1 器具の埋込穴

1. 天井に埋込穴 (φ125±2mm) をあけてください。
2. 取付け前に器具質量(0.5kg)や操作に十分耐えるよう取付け部の強度を確保してください。
※薄い天井、傾斜天井、ロックウールなどの柔らかい天井、壁面には取付けしないでください。
※取付け可能天井厚は、5mm~25mmです。
※埋込穴をあける際は専用工具を用いてあげてください。
注) 取付けに不備があると器具落下の原因となります。

2 取付けばねの取付け方法

- 本体の取付けばね取付け部(2ヶ所)に(図1)のように取付けばねをさし込み、「カチッ」と音がして確実に取付けばねが取付けられていることを確認してください。
※取付けばね取付け部に不備があると器具落下の原因となります。
-

3 電源線の接続

1. 電源線の被覆を図2のようにストリップしてください。
※裸端子を使用しないでください。
 2. 電源線を図2のように確実に端子台の奥まで差し込んでください。
※端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、(適合電線φ1.6, φ2.0 Cu単線) (図2) ねじった状態で差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
 3. 送り配線は照明器具専用です。
※送り線容量は本体表示に従い、6A以下で使用してください。
 4. アース線を用いてD種(第三種)接地工事を施してください。
※アースが不完全な場合には感電の原因となります。
 5. 器具本体に電源線を接触させないでください。感電、火災の原因となります。(図4)
 6. 電源線を引き抜く際は、必ず電源を切り、図3のようにリリースボタンをマイナスドライバーでまっすぐに押し込んで引き抜いてください。リリースボタン以外を押すと、感電の原因となります。
※使用工具は、先端が6~7mmの電工マイナスドライバーを使用してください。
これ以外の工具を使用した場合、リリースボタンが正常に動かなくなったり、電源線の解除ができなくなる恐れがあります。
※絶対に電線を回転させて無理に引き抜かないでください。接触不良の原因となります。
-

■仕様

適合ランプ (GX53口金)	定格電源電圧	電源周波数	消費電力	入力電流
LDF4	AC100V	50/60Hz	4.2W	0.070A
LDF5			5.0W	0.080A
LDF6			6.2W	0.100A
LDF7			6.9W	0.115A
LDF6 (調光タイプ)			5.9W	0.093A
LDF8 (調光タイプ)			7.6W	0.118A

保証について

- 保証期間は、「商品お買い上げ日より1年間です。」但し、LED器具の点灯装置については3年間です。
- セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)

受付時間: 365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料: 有料)
FAX 0570-000-661 (通話料: 有料)

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

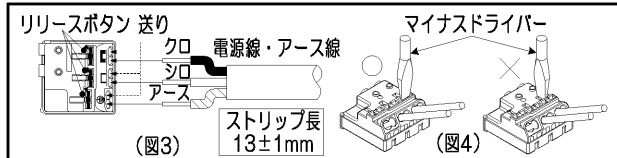
東芝ライテック株式会社

〒212-8585

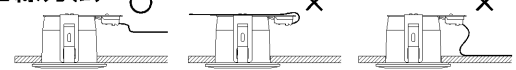
神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

0032413E



4 配線方法



器具本体に電源線を接触させないでください。感電、火災の原因となります。

5 本体天井取付け方法

- (注) 取付けに不備があると落下の原因となります。
1. 器具を挿入する前に断熱材を軽く押し上げてください。
2. 取付けばね(2ヶ所)を内側へ押さえつけてください。
3. 本体を埋込穴に、端子台が通るように斜めに挿入してください。(図6)
4. 本体をまっすぐにゆっくりと押し上げ、確実に取付けてください。
※取付け後、天井面と本体に隙間が発生した場合は、再度断熱材を押し上げ器具を再挿入してください。
5. 器具が隙間なく確実に取付けていることを確認してください。
(注) 器具を天井から取り外す際には、ゆっくり器具を引き下げ、取付けばねを、押さえ付けながら取り外してください。無理に引き下げようとすると天井材破損の恐れがあります。
-

6 ランプ (別売) ・カバーの取付け方法

1. カバーの片側のツメの下に指をかけ、反対側のツメの方へカバーを押しながら下げてください。(図7)
(カバー表面の三角マーク△位置にツメがあります。)
(注) カバーのパッキンははずさないでください。パッキンがはずれると防水性が損なわれて感電の原因となります。
 2. ソケットの端子部とランプのピンの位置を合わせるようにランプを押し上げます。(図8)
(三角マークラベル▽位置に端子部があります。)
 3. ソケット端子部にランプのピンが入ったら、カチッと節度のあるところまで時計回りにランプを回してください。
 4. カバーのツメを反射板の角穴にさしこみ、反対側の角穴にツメがまるまでカバーを押し上げてください。(図9)
- (注) カバーを確実に取付けてください。取付けに不備があるとカバーの落下や、防水性が損なわれて感電の原因となります。
-
-
-

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障および損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

日本国内専用
Use only in Japan